

金剛峯寺所蔵建築指図等の調査

はじめに 奈文研では2019～2022年度の4カ年にわたり、町内全域における歴史的建造物の悉皆的な把握と、金剛峯寺の壇上伽藍と本坊を中心とした近世から近代の建造物の詳細調査をおこない報告書を刊行した¹⁾。限られた調査期間のなかで、新たな論点や課題を見出すも解決に至っていないこともあり、断続的に検討を重ねている。2024年度は高野町からの委託を受けて、金剛峯寺所蔵の建築指図や図面等について、高精細写真撮影および調査を実施した。本稿では、その概要をまとめて報告する。

調査対象 金剛峯寺に所蔵される建築指図や図面のうち、壇上伽藍および本坊（旧青巌寺・旧興山寺）の江戸時代から昭和初期にかけての再建活動に際して作成された76点について、高精細写真撮影と調査をおこなった（表4）。

近世期から明治期のもの45点、昭和期の金堂再建に関わるもの13点、昭和期の根本大塔再建に関わるもの18点である。近世期から明治期の45点は金剛峯寺が所蔵し、靈宝館において保管されていた。昭和期の金堂と根本大塔に関わるもの31点は、金剛峯寺が所蔵する史料から近年発見されたものである。

高野山の建築群は度重なる火災から幾度も復興を遂げている。今回対象とした近世期の図は5度の火災からの復興に関わるものに大別できる。

寛永7年火災からの復興 寛永7年（1630）の火災は根本大塔への落雷に起因するもので、壇上伽藍は御社（山王院本殿）などの一部の建物を除き大きな被害を被った。復興にともなう壇上伽藍灌頂堂に関する図が5点ある。このうち2点には宝暦2年（1752）上棟の記載がある。『紀伊続風土記』灌頂院の項に宝暦10年（1760）再建とあり、8年のずれがある。また1点には、「東寺様」が外陣を格天井、内陣を鏡天井とする旨を記す。現存する寛永11年（1634）建立の教王護国寺灌頂院は外陣を格天井、内陣を鏡天井とすることは一致する。建築の造営時に際した情報の収集について考える上で興味深い。

文化6年火災からの復興 文化6年（1809）の火災は南谷からの延焼に起因し、金堂と根本大塔は被災を免れたが、西は六角堂や中門から、東は大会堂をはじめとする伽藍東寄りの建物群に至るまでを焼失した。復興にとも

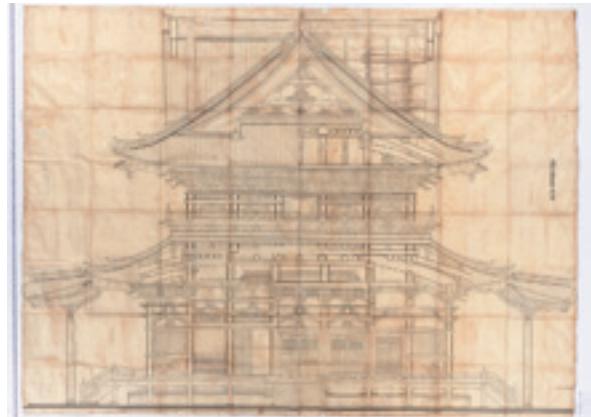


図39 壇上伽藍金堂建地割図（表4番号29）

なう文化8年（1811）の勸学院本堂、文化10年（1813）の会堂・新学堂・三昧堂の3棟、文政6年（1823）の東塔・六角堂、文政11年（1828）の金堂鐘樓堂の図面、年紀はないが天保5年（1834）に再建がなされている西塔の図が伝わる。

天保14年火災からの復興 天保14年（1843）の火災は宝蔵からの出火に起因する。御社と西塔は罹災を免れたが、金堂や根本大塔など壇上伽藍の大部分を焼失した。復興にともなう弘化2年（1845）の山王院（拝殿）と同外華表、弘化5年（1848）の御影堂、嘉永元年（1848）の大会堂、万延元年（1860）の金堂と、年紀はないもののこの頃に作成されたとみられる根本大塔と中門に関する図がある。金堂は実現した重層案（図39）に加え、単層案も検討されている。

万延元年火災からの復興 万延元年（1860）の火災では、青巌寺の建物群を焼失した。慶應元年（1865）の大主殿・鐘樓・表門などに関する図が伝わる。また復興と直接の関連性は明確ではないが、幕末から明治期に作成されたとみられる興山寺およびその背後の東照宮、丹生都比売神社大庵室²⁾や、明治期の金剛峯寺および壇上伽藍と各子院の現況を記した冊子も確認できた。

昭和元年火災からの復興 昭和元年の火災では、再建まもない金堂を焼失した。耐火対策として、鉄筋鉄骨コンクリート造と木造の混構造を採用した金堂と根本大塔の図面が確認された。

まとめ 以上のように、高精細写真撮影をおこなった76点の図は5度の火災からの復興に関わるものに大別できる。引き続き、調査を継続し、高野山における復興の詳細をあきらかにしたい。

（鈴木智大）

註

1) 『高野町の歴史的建造物』高野町教育委員会、2023。

2) 古川耕作平・小島一成・八村広三郎「天野舞楽曼荼羅におけるデジタルアーカイブとその応用」（『じんもんこん2019論文集』2019、37-42頁）掲載境内図に描かれる大庵室と似る。

表4 調査対象図面一覧

番号	建物名称（特記なきは壇上伽藍）	種類	長辺(cm)	短辺(cm)	前身堂罹災年	作成年代（太字は年紀による）	靈宝館通番号	備考（PL.は、「高野町の歴史的建造物」に對応する）
1	灌頂堂	指図	88.0	59.5	寛永7年（1630）	宝暦2年（1752）	1755	「東寺様」の記載あり。
2	灌頂堂	指図	88.0	59.5	寛永7年（1630）	宝暦2年（1752）	1754	3と類似。
3	灌頂堂	指図	87.5	60.0	寛永7年（1630）	宝暦2年（1752）	1751	2と類似。
4	灌頂堂	指図	87.0	59.5	寛永7年（1630）	宝暦2年（1752）	1752	5と類似。
5	灌頂堂	指図	86.5	30.5	寛永7年（1630）	宝暦2年（1752）	1753	断簡。4と類似。
6	勸學院本堂	指図・建地割図	170.0	99.0	文化6年（1809）	文化8年（1811）	1761	PL.61
7	大会堂	建地割図	259.0	151.0	文化6年（1809）	文化10年（1813）	1744	
8	新学堂	建地割図	174.0	124.0	文化6年（1809）	文化10年（1813）	1741	
9	三昧堂	建地割図	102.0	84.0	文化6年（1809）	文化10年（1813）	1746	PL.60下
10	東塔	建地割図	279.0	143.0	文化6年（1809）	文政6年（1823）	1747	
11	六角堂	建地割図	220.0	144.0	文化6年（1809）	文政6年（1823）	1750	
12	金堂鐘樓堂	建地割図	176.0	141.0	文化6年（1809）	文政11年（1828）	1749	
13	西塔	建地割図	315.0	224.0	文化6年（1809）	天保5年（1834）	1732	
14	山王院（拝殿）	指図	89.0	37.0	天保14年（1843）	不明	1759	天保14年焼失の前身堂。PL.59左上。
15	山王院（拝殿）	建地割図	204.0	57.0	天保14年（1843）	弘化2年（1845）	1756	附指定。16・17と同封。PL.59右。
16	山王院（拝殿）	指図	75.0	30.0	天保14年（1843）	弘化2年（1845）	1757	15・17と同封。PL.59左下。
17	山王院外華表	建地割図	68.0	48.5	天保14年（1843）	弘化2年（1845）	1758	15・16と同封。
18	御影堂	指図	56.0	41.0	天保14年（1843）	弘化5年（1848）	1739	
19	御影堂	建地割図	177.0	100.0	天保14年（1843）	弘化5年（1848）	1738	
20	御影堂	建地割図	128.0	127.0	天保14年（1843）	弘化5年（1848）	1737	附指定。
21	大会堂	指図	83.0	81.5	天保14年（1843）	嘉永元年（1848）	1743	附指定。
22	大会堂	建地割図	275.5	160.0	天保14年（1843）	嘉永元年（1848）	1742	附指定。
23	大会堂	建地割図	255.0	177.0	天保14年（1843）	嘉永元年（1848）	1745	24とわずかに異なる。
24	大会堂	建地割図	270.0	183.0	天保14年（1843）	嘉永元年（1848）	1765	23とわずかに異なる。
25	中門	建地割図	60.0	37.5	天保14年（1843）	万延元年（1860）	1748	26および金堂間数書付と同封。
26	金堂	建地割図	82.0	49.0	天保14年（1843）	万延元年（1860）	1730	25および金堂間数書付と同封。
27	金堂	建地割図	380.0	257.0	天保14年（1843）	万延元年（1860）	1728	
28	金堂	指図	68.0	68.0	天保14年（1843）	万延元年（1860）	1729	
29	金堂	建地割図	422.0	314.0	天保14年（1843）	万延元年（1860）	1727	
30	金堂	上棟規式図	188.0	89.0	天保14年（1843）	万延元年（1860）	1731	
31	根本大塔	指図	92.0	91.0	天保14年（1843）	幕末・明治期	1736	『匠明』所収図、昭和再建建物と類似。
32	根本大塔	指図	77.0	74.0	天保14年（1843）	幕末・明治期	1735	『高野春秋編年輯錄』所収図と類似。
33	根本大塔	建地割図	148.0	81.5	天保14年（1843）	幕末・明治期	1733	34と同じ。
34	根本大塔	建地割図	113.0	80.0	天保14年（1843）	幕末・明治期	1733	33と同じ。
35	青巖寺・興山寺	地割図	104.0	50.5	万延元年（1860）	幕末・明治期	1767	
36	青巖寺	指図	97.0	92.0	万延元年（1860）	万延元年（1860）	1768	万延元年焼失の前身堂。PL.55上。
37	青巖寺	指図	170.0	153.0	万延元年（1860）	慶應元年（1865）	1785	1786～1788と同函。PL.56上。
38	青巖寺大主殿	建地割図	305.0	118.5	万延元年（1860）	慶應元年（1865）	1786-1	1785～1788と同函。PL.56中。
39	青巖寺大主殿	建地割図	363.0	117.8	万延元年（1860）	慶應元年（1865）	1786-2	1785～1788と同函。PL.56下。
40	青巖寺会門	建地割図	363.0	117.8	万延元年（1860）	慶應元年（1865）	1786-3	1785～1788と同函。PL.57上。
41	青巖寺鐘樓	指図	49.0	36.0	万延元年（1860）	慶應元年（1865）	1787	1785～1787と同函。PL.55右下。
42	青巖寺表門	指図	49.0	36.0	万延元年（1860）	慶應元年（1865）	1788	1785～1788と同函。PL.55左下。
43	行方東照宮	指図	82.0	65.5	—	幕末・明治期	1771	神仏分離前。
44	丹生都比売神社大庵室	指図	126.0	87.0	—	幕末・明治期	1769	神仏分離前。
45	高野山各院	指図	44.0	30.0	—	明治23年（1890）	1779	
46	金堂	断面図	1,100	792	昭和元年（1926）	昭和9年（1934）	—	附指定。
47	金堂	断面図	1,110	790	昭和元年（1926）	昭和9年（1934）	—	附指定。
48	金堂	立面図	1,110	760	昭和元年（1926）	昭和9年（1934）	—	附指定。
49	金堂	立面図	1,115	755	昭和元年（1926）	昭和9年（1934）	—	附指定。
50	金堂	断面図	1,090	785	昭和元年（1926）	昭和9年（1934）	—	青焼図。附指定。
51	金堂	平面図	1,075	780	昭和元年（1926）	昭和9年（1934）	—	青焼図。附指定。
52	金堂	立面図	1,085	785	昭和元年（1926）	昭和9年（1934）	—	青焼図。附指定。
53	金堂	工程表	790	370	昭和元年（1926）	昭和9年（1934）	—	青焼図。附指定。
54	金堂	工程表	790	370	昭和元年（1926）	昭和9年（1934）	—	青焼図。附指定。
55	金堂	平面図	750	562	昭和元年（1926）	昭和9年（1934）	—	附指定。
56	金堂	立面図	755	550	昭和元年（1926）	昭和9年（1934）	—	附指定。
57	金堂	立面図	750	535	昭和元年（1926）	昭和9年（1934）	—	附指定。
58	金堂	断面図	750	547	昭和元年（1926）	昭和9年（1934）	—	附指定。
59	根本大塔	断面図	1,223	785	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。附指定。
60	根本大塔	計算図	1,095	788	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。附指定。
61	根本大塔	計算図	1,100	788	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。附指定。
62	根本大塔	計算図	1,090	788	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。附指定。
63	根本大塔	計算図	1,105	785	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。附指定。
64	根本大塔	計算図	1,090	785	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。附指定。
65	根本大塔	計算図	1,095	785	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。附指定。
66	根本大塔	計算図	1,095	785	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。附指定。
67	根本大塔	計算図	1,095	788	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。附指定。
68	根本大塔	計算図	1,095	785	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。附指定。
69	根本大塔	見上図	1,095	788	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。附指定。
70	根本大塔	詳細図	1,095	785	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。附指定。
71	根本大塔	詳細図	1,095	788	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。附指定。
72	根本大塔	立面図	1,095	392	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。断簡。附指定。
73	根本大塔	詳細図	1,085	788	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。74と類似。附指定。
74	根本大塔	詳細図	1,085	788	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。73と類似。附指定。
75	根本大塔	詳細図	1,018	698	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	青焼図。73と類似。附指定。
76	根本大塔	詳細図	1,113	698	天保14年（1843）	昭和10年（1935）	—	